

まとめ：ごみかん理事 小野寺 勲

「第二次循環型社会形成推進基本計画」（2008年3月）の進捗状況の第4回点検の一環として、循環型社会形成に向けた意識・行動の変化の実態を把握するために実施されました。全国20歳以上の人を対象として、2011年11月にインターネットで調査。有効回答数1,096人。毎年度実施。

指標として設定されている調査項目・選択肢	2010 年度	2011 年度
■ 3R全般に関する意識		
ごみ問題への関心		
・ごみ問題に（非常に・ある程度）関心がある	83.8%	81.2%
3Rの認知度		
・3Rという言葉（優先順位まで・言葉の意味まで）知っている	38.4%	41.7%
廃棄物の減量化や循環利用に対する意識		
・ごみを少なくする配慮やリサイクルを（いつも・多少）心がけている	71.7%	67.0%
・ごみの問題は深刻だと思いつつも、多くのものを買って、多くのものを捨てている	10.8%	11.3%
グリーン購入に対する意識		
・環境にやさしい製品の購入を（いつも・できるだけ・たまに）心がけている	84.3%	82.1%
・環境にやさしい製品の購入をまったく心がけていない	12.5%	14.8%
■ 3Rに関する主要な具体的行動例		
発生抑制（リデュース）		
・レジ袋をもらわないようにしたり（買い物袋を持参する）、簡易包装を店に求めている	72.7%	68.9%
・詰め替え製品をよく使う	74.7%	74.5%
・使い捨て製品を買わない	24.2%	23.4%
・簡易包装に取り組んでいたり、使い捨て食器類（割り箸等）を使用していない店を選ぶ	16.0%	13.7%
・マイ箸を携帯している	9.8%	9.0%
・ペットボトルなどの使い捨て型飲料容器や、使い捨て食器類を使わないようにしている	23.0%	20.5%
再使用（リユース）		
・インターネットオークションに出品したり、落札したりするようにしている	28.3%	17.9%
・中古品を扱う店やバザーやフリーマーケットで売買するようにしている	23.4%	20.4%
・びん牛乳など再使用可能な容器を使った製品を買っている	10.1%	12.5%
再生利用（リサイクル）		
・家庭で出たごみはきちんと種類ごとに分別して、定められた場所に出している	90.6%	87.5%
・リサイクルしやすいように、資源ごみとして回収されるびんなどは洗っている	72.8%	71.0%
・トレイや牛乳パックなどの店頭回収に協力している	47.5%	48.5%
・携帯電話の店頭回収に協力している	20.5%	19.4%
・再生原料で作られたリサイクル製品を積極的に購入している	12.9%	13.6%